

株主メモ

1. 決算期	毎年3月31日
2. 定時株主総会	毎年6月
3. 利益配当金	毎年3月31日現在における最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載又は記録された株主及び端株原簿に記載又は記録された端株主にお支払いいたします。
4. 中間配当金	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日現在における最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載又は記録された株主及び端株原簿に記載又は記録された端株主にお支払いいたします。
5. 公告掲載方法	電子公告 電子公告掲載URL http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。 貸借対照表・損益計算書については、下記URL又は当社ホームページに掲載しております。 http://www.aspir.co.jp/kessan/9436/9436.html
6. 株式の名義書換	(1) 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 (2) 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (3) 同送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） (4) 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

【お知らせ】

当会社の名義書換代理人「UFJ信託銀行株式会社」は、合併により、平成17年10月1日から「三菱UFJ信託銀行株式会社」に変更になりました。

以 上



第15期 中間事業報告書
平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



〒900-8540 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル4F

—お問い合わせ先—
総務部 098-860-3608

—ホームページ—
<http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html>





代表取締役会長
親泊 一郎



代表取締役社長
起橋 俊男

株主、投資家の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第15期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の中間事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

当中間会計期間につきましては、携帯電話市場の成熟化が進展する中、加入者獲得競争は、一層厳しさを増してまいりました。

そのような状況下、ブロードバンドケータイ「CDMA 1X WIN」の利用者が9万契約を突破し、「ダブル定額ライト」「PCサイトビューアー定額制」などの新サービスも順次展開され、優位な立場で競争することができました。

業績につきましても好調に推移し、当中間会計期間における営業収益及び經常利益並びに中間純利益ともに前年同期比で増収増益を達成することができました。

これもひとえに株主の皆様の温かいご支援、ご高配によるものと心より感謝申し上げます。

また、株式の流動性の向上を目的として、平成17年9月22日をもちまして、1株につき2株の割合をもって株式分割を実施いたしました。

当社は、事業環境の急速な変化とお客様の高度化・多様化するニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、移動体通信における付加価値の向上に努め、高品質なサービスを低廉な料金で提供し社会の発展に貢献するとともに、お客様に満足していただける企業、親しみと尊敬に価する企業を目指しております。また、キャッシュ・フローを重視した高収益企業体質を構築することにより、株主及び投資家の皆様にとって魅力ある企業となるよう努めていくことを会社の基本方針として取り組んでまいりますので、株主、投資家の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

～ステイクホルダーとの良好な関係構築を目指す～

(1) 中間決算を終えた感想は？

株主をはじめ皆様のご支援の結果、前年同期比で増収増益の中間決算となったことに感謝を申し上げます。特に第2四半期のデータARPUは前年同期比10%増となり、WINユーザー向けに提供を開始した「ダブル定額ライト」が功を奏し、増益に結びつく大きな要因となった。また、観光客の増加もデータARPUを押し上げることとなったと捉えているが、この好材料が一過性のものなのかどうか引き続き検証する。下半期についても8%程度の伸びを期待したい。

反面、本年度上半期の沖縄携帯電話市場は著しく沈静化した。本土市場が前年同期比で約10%の減少に留まったのに対し沖縄では約25%減と大きく前年を下回った。本来計画した顧客獲得ができず、営業費用が計画以下に留まったことによる増益部分もあり、今後の収益を考えた場合、決して喜ばしいことではない。

また、下半期は、通信設備の保全に係る費用や固定資産除却等の一過性の費用が集中することを見込んでおり、上半期に比べて費用の増加が予測されるが、今後も増益基調を維持するため気を引き締め、全社を挙げて取り組んでいきたい。

(2) MNP（番号ポータビリティ）に向けた市場の変化について

MNPに対するお客様の関心について、正直なところ掘めていない。日常の数字においてもその影響がまだはっきり表れているとは思えない。MNPの影響はこれから徐々に表われてくるものだと思われるので、日頃からその動きを注視したい。特に解約・機種変更についてはMNP開始を控え、一時的に沈静化していくものと思われるので、市場の動向に十分注意を払いたい。

MNPは、電話番号を変えずにサービス・料金施策、携帯端末の良し悪し等でお客様の事業者選択の自由度が拡大されるため、益々事業者間競争の激化が予想される。「やっぱりauがいいね!」というお客様の事業者選択の本質を追求することに努め、トータルでお客様に受け入れられる通信事業者としての体質を創り出し、改善と持続に全力で取り組む。通信事業者にとってMNPは競争のルールが変更され、新たな競争に入ることとなるが、お客様サービスの向上という面から見ればこれまで通り永遠の課題である。

今後も市場の動向を注視しながら、競争に打ち勝つ施策を立案し、機動性を武器にCS体制を強化しながら臨機応変に対応していく。そのためにもブランド力向上には引き続き積極的に取り組む。



(3) ステイクホルダーへの還元について

「ステイクホルダー」を広い意味で捉えている。株主、auをご利用頂いているお客様をはじめ、代理店、携帯電話の製造メーカー、通信設備工事に携わる工事業者、そして社員、地域を含めて、すべてがステイクホルダーだ。ステイクホルダーと当社は苦楽を共にする関係にあり、業績をあげることによってより良い還元ができるよう努めていく。

業績をどのように分かち合えるか、経営者の責任として短期的な視点だけではなく、将来を見据えた上で充実した還元策を考えていきたい。経営環境、他事業者との競争等、『長期的な視野に立ってバランスの良い還元』を目指し、そういう考え方を理解して頂けるように努めたい。ステイクホルダーとの良好な関係は大切な経営基盤だと考えている。

業績等の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど、企業部門と家計部門の改善により、景気は緩やかに回復しております。

また、当社業務区域の沖縄県の経済も、観光が好調に推移し、個人消費も底堅く、景気回復の動きは強まっております。

この間、国内携帯電話業界（PHSを除く）におきましては、全国の当中間会計期間末のご契約数が89,126千契約（前年同期比2,129千契約増）、沖縄県では822千契約（前年同期比14千契約増）となり、携帯電話市場の成熟化が進展する中、地上波アナログテレビの受信や電子決済機能など付加価値の高い携帯電話端末の投入や、新サービス・新料金プランの提供など事業者間のお客様獲得に向けた競争は一層厳しさを増しております。

このような情勢のもと、当社では「CDMA 1X WIN」において、月額1,000円（税込1,050円）から始まるパケット通信料定額サービス「ダブル定額ライト」を導入するとともに、パソコン向けWEBサイト閲覧サービス「PCサイトビューアー」をおわせてお使いの場合でも月額5,700円（税込5,985円）で使い放題となる料金定額制を導入いたしました。また、11月より小、中学生及び60歳以上のお客様が基本使用料1,500円（税込1,575円）にてご利用いただける「家族割 ワイドサポート」の提供、並びに各種料金プランの変更、来年2月より法人のお客様を対象に基本使用料の割引率を最大で約51%に拡大することを発表するなど、今後も幅広い層のお客様に安心してご利用いただけるような料金体系を目指しております。

サービス面では、国際ローミングサービス「GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）」においては、既に日本人の海外渡航先約75%をカバーしております音声通話サービスのほかに、EメールやEZweb等のデータローミングサービスも韓国に続いてタイ、台湾、中国でもご利用いただけるようになりました。また、テレビの視聴と通信機

能を組み合わせ、新しい感覚にてテレビを楽しむ「EZ テレビ」や、待受画面上に自動的に最新ニュースが配信されるのに加え、天気、占い、乗換の閲覧が簡単にできる「EZ QUICK」を提供いたしました。このほか、学生から社会人までいつでもどこでも気軽に学習いただけるモバイルラーニング「学び」メニューや、GPS衛星の位置情報を利用した業界初の助手席向けカーナビゲーションサービス「EZ 助手席ナビ」、並びに電子マネー、会員証といった各種サービスをご利用いただける「EZ FeliCa」サービスの提供などにより、携帯電話がお客様のあらゆるシーンに密着した「生活インフラ」となるよう推進してまいりました。

地元向けサービスとしては、インディーズから民謡、島うたまで幅広いジャンルの沖縄の楽曲がダウンロードできる「あちFUN音楽堂フル」を提供いたしました。また、当社サービスの認知拡大や利用促進のプロモーションキャラクターとして「auシカ」を採用し、今後も継続的に展開してまいります。

携帯電話端末の新ラインナップとしては、パソコンに取



り込んだCDやネット配信楽曲も転送して再生が可能なオーディオケータイをはじめ、地上波アナログテレビ放送に対応した端末、決まった相手にすぐ電話できる「ワンタッチボタン」がついた簡単ケータイ、折りたたみ形状ながら、耐水・耐衝撃の「タフネス性能」を備えた端末など魅力ある携帯電話端末を新たに投入いたしました。

また、お客様のご利用金額が一定額を超過した場合に、Eメールでお知らせするのみでなく、通話及びパケット通信の発信規制を行うなど「料金安心サービス」の機能拡充を行いました。これによりお客様は通話料金やパケット通信料金を使いすぎることなく、安心して携帯電話をご利用いただくことが可能となります。

これらの様々な施策を実施した結果、当中間会計期間末のご契約数は411千契約（前年同期比8千契約増）、県内における当社のご契約累計シェアは50.1%となりました。

以上の結果、当中間会計期間の損益状況は、営業収益は電気通信事業営業収益で18,251,997千円（対前年同期比3.9%増）、附帯事業営業収益で4,641,357千円（対前年同期比1.2%減）、営業収益合計は22,893,355千円（対前年同期比2.8%増）となりました。経常利益につきましては5,318,479千円（対前年同期比35.2%増）、中間純利益は3,231,275千円（対前年同期比27.0%増）となりました。

通期の見通し

わが国経済は、原油価格の動向に留意する必要があるものの、企業部門・家計部門ともに改善が見られ、今後も国内民間需要に支えられた景気回復が続くものと見込まれます。

国内携帯電話業界におきましては、市場が成熟する中で、事業者を変えても電話番号がそのまま使える番号ポータビリティ（MNP：Mobile Number Portability）の導入（平成18年度）を控え、既存のお客様も含めた事業者間の顧客獲得競争はますます熾烈なものになると予想されます。

このような情勢のもと、当社は引き続き、ご契約いただ

いているお客様をはじめとするあらゆるステイクホルダーのご満足度を高める「トータル カスタマー サティスファクション（TCS）」活動を一層推進し、KDDIグループとの強力な連携のもと、商品力の強化と質の高いサービスの提供を行い、ブランド力の強化に努めてまいります。さらに、効率的な設備投資を行うことにより、財務体質の強化を図り、経営全般にわたる経費の効率化と更なる業務の合理化に努め、企業収益の確保と競争力のある経営基盤を築き、電気通信事業を通して地域社会の発展に貢献すべく、全社を挙げて取り組んでまいります。

また、従来からお客様情報については厳格に管理してまいりましたが、本年4月に個人情報保護法が施行され、さらにその体制を整備強化し、コンプライアンスの徹底を推進してまいります。

以上により、通期のご契約純増数を24千契約、累計のご契約数を427千契約と計画し、業績の見通しにつきましては、営業収益を454億円、経常利益を81億円、当期純利益を51億円と見込んでおります。



タノシイ! ウレシイ! オモシロイ! もう、auケータイが手放せない!!

とことん楽しんで月額!

ダブル定額ライト

対応機種 W3シリーズ (W03H, W02H, W01K除く)

1,050円(税込)から
はじまる定額サービス

定額1
あまり使わなかった月は1,050円(税込)

定額2
どんなに使っても4,410円(税込)

とにかく手頃な料金で定額制をはじめたいという人のために、月額1,050円(税込)からはじまる「ダブル定額ライト」が登場。あまり使わなかった月もとことん使った月も、どちらもおトクなパケット料金定額サービスです。もちろん、WINのどの料金プランとも組み合わせが可能です。

1曲まるごとダウンロード!

EZ「着うたフル」

対応機種 PENCK, W33SA/W32/W31/W22シリーズ, W21CA/CAII (W32K除く)

- 高音質楽曲をケータイだけで1曲まるごとダウンロード
 - ジャケット写真などの画像も一緒にダウンロード*
- *一部のコンテンツでは対応していません

いつでも、どこにいても、ケータイひとつでお目当ての曲を1曲まるごとダウンロードできる「着うたフル™」。多彩な再生機能を使えば、まるでミュージックプレイヤーのように高音質で音楽を楽しめます。



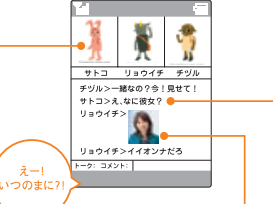
仲間や家族と新感覚チャット!

Hello Messenger

対応機種 W33SA, W32T, A5515K

同時に5人で、文字・声・写真のマルチなやりとり。新スタイルの遊べるコミュニケーション。

- リアルタイム
 - 最大5人でリアルタイムにコミュニケーション
 - 誰が話しているかがひと目で分かる
- 文字
 - 文字メッセージをチャット感覚でやりとり
 - 絵文字の使用もOK



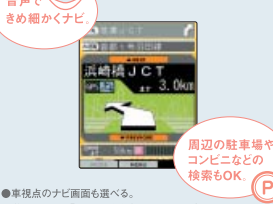
- 声
 - 通話中に通話キーを押すと、全員に声で話しかけられる
- 写真
 - 通話中に撮影と送信可能

ケータイGPSで迷わない!

EZ助手席ナビ

対応機種 PENCK, W33SA/W32/W31/W22/W21シリーズ (W32K, W21H, W21K除く)

- 車のおでかけau携帯でスイスイ!
- 渋滞情報(VICS)対応で、交通状況にあわせて抜け道ナビもばっちり。
- 地図は自動更新だから、いつでも最新。
- 高速道路にも対応。*
- 駐車場からは「EZナビウォーク」で徒歩ナビ。自宅のドアから目的地到着まで、しっかりご案内します。提供:KDDI



- 音声できめ細かくナビ
- 車視点のナビ画面も選べる。
- 道を外れても「リルート検索」でそこからナビ再開。



モバイル機器向け CDの楽曲も取り 小さなボディに多
地上デジタルテレ 薄型ボディに2.4 込めるミュージック 彩なアプリを搭載。
ビ放送「ワンセグ」 カメラとPCサイ 機能も充実!「お 着せ替えできる「お
対応。高音質TV WINの最新機能 サイフケータイ。」 サイフケータイ。」!
が楽しめる。 を凝縮。 対応。



3.2メガの高画素 海外で通話、メール、ロングタイプ・有機 耐水・耐衝撃のタ
カメラと高精細液 EZwebが使える、ELを搭載。磨きぬか フネス性能。メガ
晶でダブルくっきり。コンパクト&フラッ ったフラットフォルム ビクセルカメラと
使いやすさの機能 トモデル。 と融合したau最小 電子コンパス搭載。
も充実。 最薄・最軽量ケータイ。



カメラ付きでメール 通話専用のケー
もできる簡単ケー タイ。大きな数字
タイ。「でかキー」 ボタンと漢字表記
&「でか文字」で で誰にでも使いや
操作ラクラク。 すいモデル。

EZweb auパラダイス ネット

EZチャンネル

対応機種 PENCK, W33SA/W32/W31/W22/W21/W11シリーズ (W21H除く)

沖縄エンタ・わたしたTV

コネタあり! お笑いあり!
ディープな沖縄を堪能あれ!

沖縄雑学の新番組「沖縄版トリビアの泉」がスタート! 沖縄の珍品珍味な映像が見られるかも。さらに会員になると、沖縄インディーズ約100曲のフルコーラスが無料で楽しめる「チョイウタ」など特典満載!



auシカサイト

幻のauシカサイト

デビュー以来、大人気のauシカ。サイトでは、カワイイ姿をたっぷり公開中!

auシカの1日をチェックできる「ライブ! auシカ」やキュートな仕草にキツケの「クレイアニメ」、ネット上でスコアが競える「auシカゲーム」など、充実のコンテンツで大好評公開中!



EZ「着うたフル」

あちFUN 音楽堂フル

民謡もインディーズも、沖縄ミュージックを産地直送で配信。

EZ「着うた」

沖縄★インディーズ

地元インディーズアーティスト達のオリジナル楽曲が満載。全曲試聴OK!

沖縄フォトカレンダー

沖縄の美しい風景写真を日替わりで楽しめる。

一年365日、日替わりで沖縄のフォトが楽しめるカレンダー。美しい自然や風景、沖縄の風物詩など、地元の魅力にあらためて気付かず。旧暦やイベント情報もチェックできます。

auユーザー還元サービス

auジョイプロジェクト

総計 **19,000** 名様を **ご招待!!**

あなたの喜ぶ顔が見たい! をコンセプトにはじまったauジョイプロジェクト。ユーザーのみなさまを様々なイベントにご招待! 今後も様々な企画で楽しみと喜びをお届けしていきます。

auケータイでよかった! と満足していただくために。

- 第1弾 琉球海炎祭2005 3,000名様
- 第2弾 サンセットクルーズ 1,000名様
- 第3弾 吉本お笑いライブ 3,000名様
- 第4弾 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル沖縄公演 400名様
- 第5弾 シネマ de ハッピー 6,000名様
- 第6弾 筋肉ミュージカル2005 1,600名様
- 第7弾 亜細亜音楽楽園2006 4,000名様

筋肉ミュージカル2005へご招待

auでよかった!

亜細亜音楽楽園 2006

「おサイフケータイ®」はNTTドコモ㈱の登録商標です。

貸借対照表

(単位：千円)

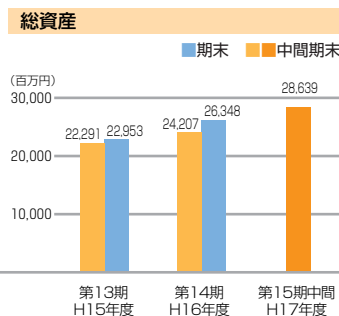
科 目	前中間期 (平成16年9月30日現在)	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前 期 (平成17年3月31日現在)
資 産 の 部			
固 定 資 産	15,032,395	14,460,956	15,262,726
電気通信事業固定資産	14,158,000	13,537,393	14,364,224
有 形 固 定 資 産	13,989,884	13,393,739	14,212,363
機 械 設 備	8,291,305	7,325,955	8,275,193
空 中 線 設 備	2,921,046	3,100,842	3,141,260
市 外 線 路 設 備	3,838	3,215	3,527
土 木 設 備	40,337	38,465	39,401
建 物	1,711,736	1,613,231	1,658,512
構 築 物	308,713	306,863	318,403
機 械 及 び 装 置	43	40	40
工 具、器 具 及 び 備 品	91,124	88,380	100,969
土 地	391,768	391,106	391,106
建 設 仮 勘 定	229,970	525,638	283,948
無 形 固 定 資 産	168,116	143,653	151,861
施 設 利 用 権	125,690	113,946	119,818
ソ フ ト ウ ェ ア	33,322	23,347	25,682
借 地 権	2,000	2,000	2,000
電 話 加 入 権	7,102	4,360	4,360
附 帯 事 業 固 定 資 産	853	542	698
有 形 固 定 資 産	111	62	87
無 形 固 定 資 産	742	480	611
投 資 其 他 の 資 産	873,541	923,020	897,803
投 資 有 価 証 券	123,350	207,170	184,450
長 期 前 払 費 用	198,403	176,983	194,783
繰 延 税 金 資 産	412,960	419,563	396,589
敷 金・保 証 金	141,204	121,730	124,356
其 他 の 投 資 及 び 其 他 の 資 産	75,405	72,561	65,916
貸 倒 引 当 金	△77,782	△74,988	△68,293
流 動 資 産	9,174,629	14,178,451	11,085,779
現 金 及 び 預 金	2,904,273	5,363,864	5,400,014
売 掛 金	4,039,721	4,279,961	4,082,980
未 収 入 金	665,317	1,107,034	885,150
貯 蔵 品	1,419,733	1,216,642	614,211
前 払 費 用	110,306	110,752	51,287
繰 延 税 金 資 産	210,550	229,178	219,230
関 係 会 社 短 期 貸 付 金	—	2,000,840	—
其 他 の 流 動 資 産	1,918	20	20
貸 倒 引 当 金	△177,192	△129,843	△167,114
資 産 合 計	24,207,025	28,639,408	26,348,506

POINT 1

「電気通信事業固定資産」につきましては、当中間期において304百万円の竣工実績となりました。

POINT 2

「流動資産」の増加につきましては、手元流動性を高めたことによる「現金及び預金」の増加及び関係会社に対する短期貸付金の実行が主な要因でございます。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

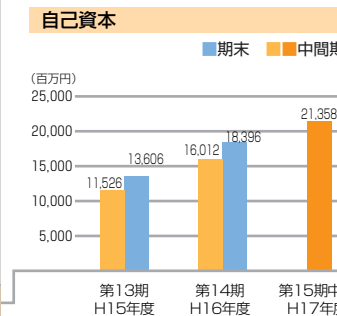
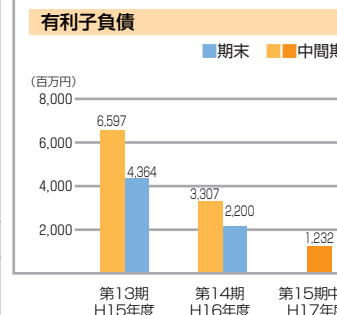
科 目	前中間期 (平成16年9月30日現在)	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前 期 (平成17年3月31日現在)
負 債 の 部			
固 定 負 債	2,063,220	1,302,138	1,527,282
社 債	562,500	187,500	375,000
長 期 借 入 金	670,490	12,500	177,940
退 職 給 付 引 当 金	76,363	49,582	63,808
ポ イ ン ト サ ー ビ ス 引 当 金	753,867	889,787	816,701
其 他 の 固 定 負 債	—	162,768	93,833
流 動 負 債	6,131,054	5,978,938	6,424,925
一 年 以 内 に 期 限 到 来 の 固 定 負 債	2,074,600	1,032,990	1,647,358
買 掛 金	526,796	810,862	571,483
未 払 金	1,998,314	1,774,390	2,103,010
未 払 費 用	84,918	87,388	120,167
未 払 法 人 税 等	1,321,468	2,151,200	1,868,315
前 受 金	42,722	36,110	34,500
預 り 金	6,024	9,256	6,239
賞 与 引 当 金	76,210	76,740	73,850
負 債 合 計	8,194,275	7,281,077	7,952,207
資 本 の 部			
資 本 金	1,414,581	1,414,581	1,414,581
資 本 剰 余 金	1,614,991	1,614,991	1,614,991
資 本 準 備 金	1,614,991	1,614,991	1,614,991
利 益 剰 余 金	12,971,490	18,266,612	15,318,257
利 益 準 備 金	64,425	64,425	64,425
任 意 積 立 金	—	—	—
別 途 積 立 金	10,000,000	13,800,000	10,000,000
中 間 (当 期) 未 処 分 利 益	2,907,064	4,402,186	5,253,831
株 式 等 評 価 差 額 金	11,686	62,146	48,468
資 本 合 計	16,012,749	21,358,330	18,396,298
負 債 ・ 資 本 合 計	24,207,025	28,639,408	26,348,506

POINT 3

「有利子負債」につきましては、当中間期末において1,232百万円となりました。

POINT 4

自己資本比率は、前中間期66.1%から当中間期74.6%となりました。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
経常損益の部			
(営業損益の部)			
電気通信事業営業損益			
営業収益	17,562,770	18,251,997	34,952,814
営業費用	13,732,346	13,137,087	27,307,218
営業費	7,615,916	7,351,323	15,390,934
施設保全費	1,019,100	964,234	2,011,699
管理費	462,183	528,280	896,032
減価償却費	1,518,347	1,384,256	2,853,639
固定資産除却費	165,296	18,907	383,353
通信設備使用料	2,764,035	2,697,398	5,401,101
租税公課	187,465	192,685	370,457
電気通信事業営業利益	3,830,424	5,114,910	7,645,595
附帯事業営業損益			
営業収益	4,699,606	4,641,357	9,629,340
営業費用	4,679,882	4,437,976	9,563,088
附帯事業営業利益	19,724	203,381	66,251
営業利益	3,850,149	5,318,292	7,711,847
(営業外損益の部)			
営業外収益	111,713	12,224	199,508
受取利息	19	843	58
受取配当金	2,007	2,007	2,650
受取手数料	66,769	1,225	138,373
賃貸収入	19,583	3,510	25,935
雑収入	23,334	4,638	32,490
営業外費用	27,730	12,037	50,067
支払利息	23,627	9,332	39,993
社債利息	4,103	2,704	7,449
雑支出	—	—	2,625
経常利益	3,934,131	5,318,479	7,861,288
税引前中間(当期)純利益	3,934,131	5,318,479	7,861,288
法人税、住民税及び事業税	1,332,695	2,129,168	2,793,002
法人税等調整額	56,147	△41,964	39,520
中間(当期)純利益	2,545,289	3,231,275	5,028,765
前期繰越利益	361,775	1,170,911	361,775
中間配当額	—	—	136,710
中間(当期)未処分利益	2,907,064	4,402,186	5,253,831

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

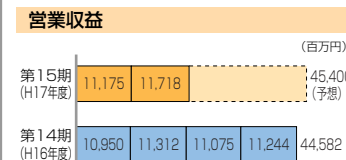
POINT 5

営業収益は、ご契約数の増加により、対前年同期比2.8%増の22,893百万円となりました。

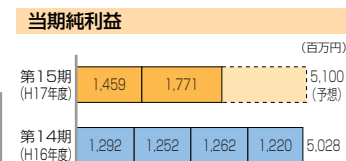
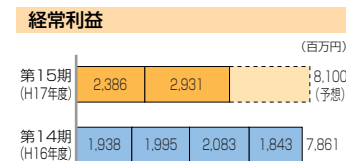
POINT 6

当中間期の利益は、営業収益の増加と経営全般にわたる経費の効率化により、経常利益及び中間純利益ともに大きく増加いたしました。

四半期毎の推移



※第15期より営業外収益に計上していた一部取引を営業収益に計上する方法に変更しております。



当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項の一つと認識しており、今後の事業展開に備えるための内部留保や財務体質の強化を勘案しつつ、安定配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、電気通信事業の公共性に鑑み、ネットワークの安全性・信頼性向上のための設備投資や、競争力を強化するための新サービス・新技術の開発に活用し、将来の業績の向上を通じ、株主の皆様への利益還元を図ってまいります。

株式分割について

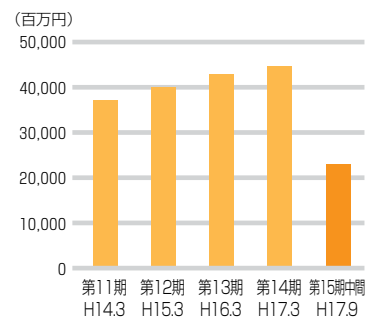
当社は、平成17年4月27日開催の取締役会において、同年7月31日（日曜日）【但し、当日および前日は名義書換代理人の休業日につき、実質上は、平成17年7月29日（金曜日）】最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を1株につき、2株の割合をもって分割する株式分割を決議し、同年9月22日に分割を実施いたしました。

本株式分割により投資単価の引き下げを行い、株式の流動性を高めることにより、より多くの一般投資家の皆様に当社株式を購入しやすい環境を整えました。

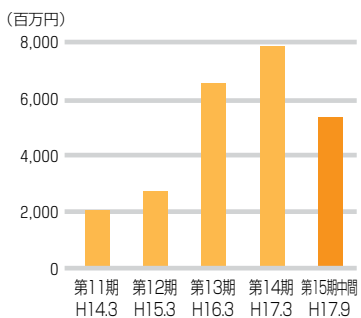
	第11期 H14.3	第12期 H15.3	第13期 H16.3	第14期 H17.3	第15期中間 H17.9
営業収益(百万円)	37,146	39,980	42,815	44,582	22,893
経常利益(百万円)	2,049	2,704	6,539	7,861	5,318
当期(中間)純利益(百万円)	1,188	1,773	4,214	5,028	3,231
1株当たり当期(中間)純利益	17,389円79銭	25,826円49銭	61,524円93銭	36,714円70銭	11,817円99銭
総資産(百万円)	24,772	22,411	22,953	26,348	28,639
純資産(百万円)	7,902	9,540	13,606	18,396	21,358
自己資本比率(%)	31.9	42.6	59.3	69.8	74.6
EBITDA(百万円)	6,358	6,761	9,754	10,928	6,721
EBITDAマージン(%)	17.1	16.9	22.8	24.5	29.4
ROCE(使用総資本利益率) ^{※1} (%)	11.2	15.4	35.8	40.0	24.6
ROE(自己資本利益率) ^{※2} (%)	16.1	20.3	36.4	31.4	16.3

※1 ROCE=営業(中間)利益÷(純資産+有利子負債)×100(%)<純資産、有利子負債は前期末・当期末(中間)の平均値>
 ※2 ROE=当期(中間)純利益÷純資産×100(%)<純資産は前期末・当期末(中間)の平均値>

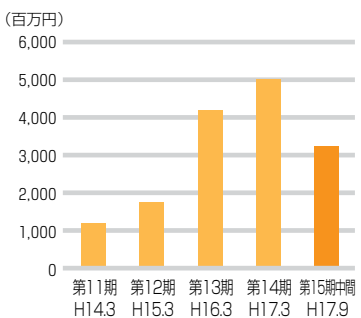
営業収益推移



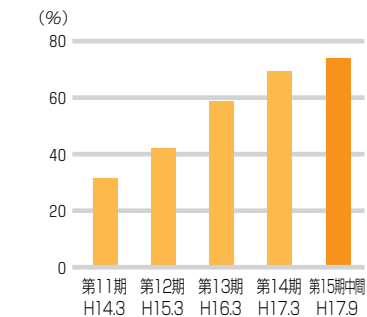
経常利益推移



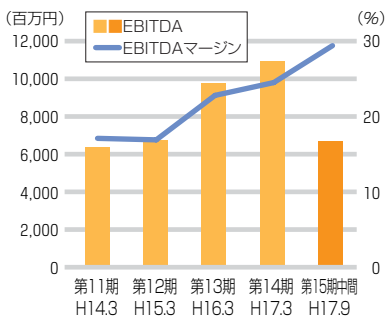
当期(中間)純利益推移



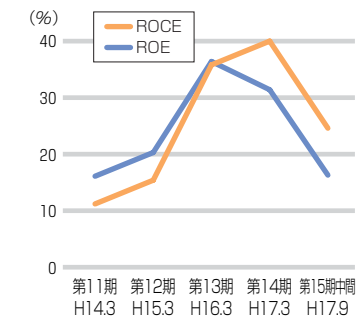
自己資本比率推移



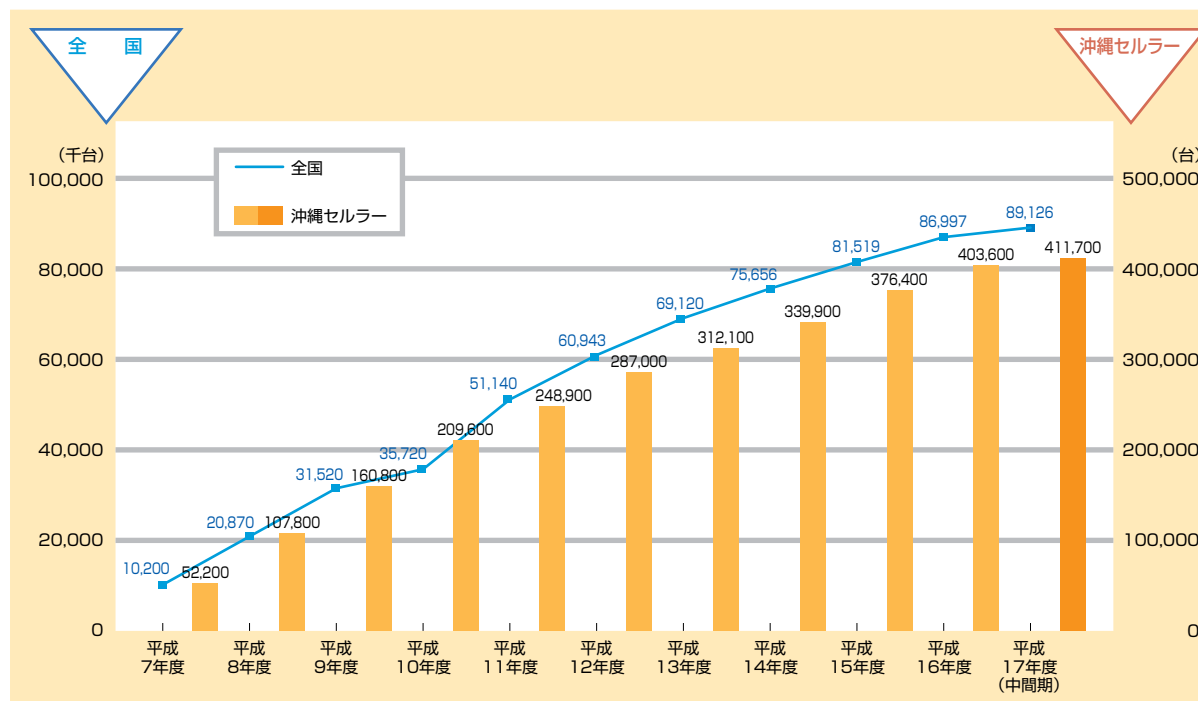
EBITDA/EBITDAマージン



ROCE(使用総資本利益率)・ROE(自己資本利益率)

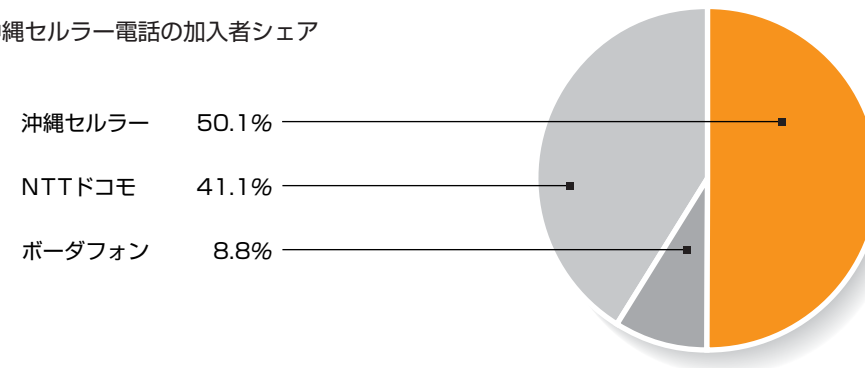


携帯電話普及台数



沖縄県の加入者シェア (平成17年9月30日現在)

沖縄市場における沖縄セルラー電話の加入者シェア



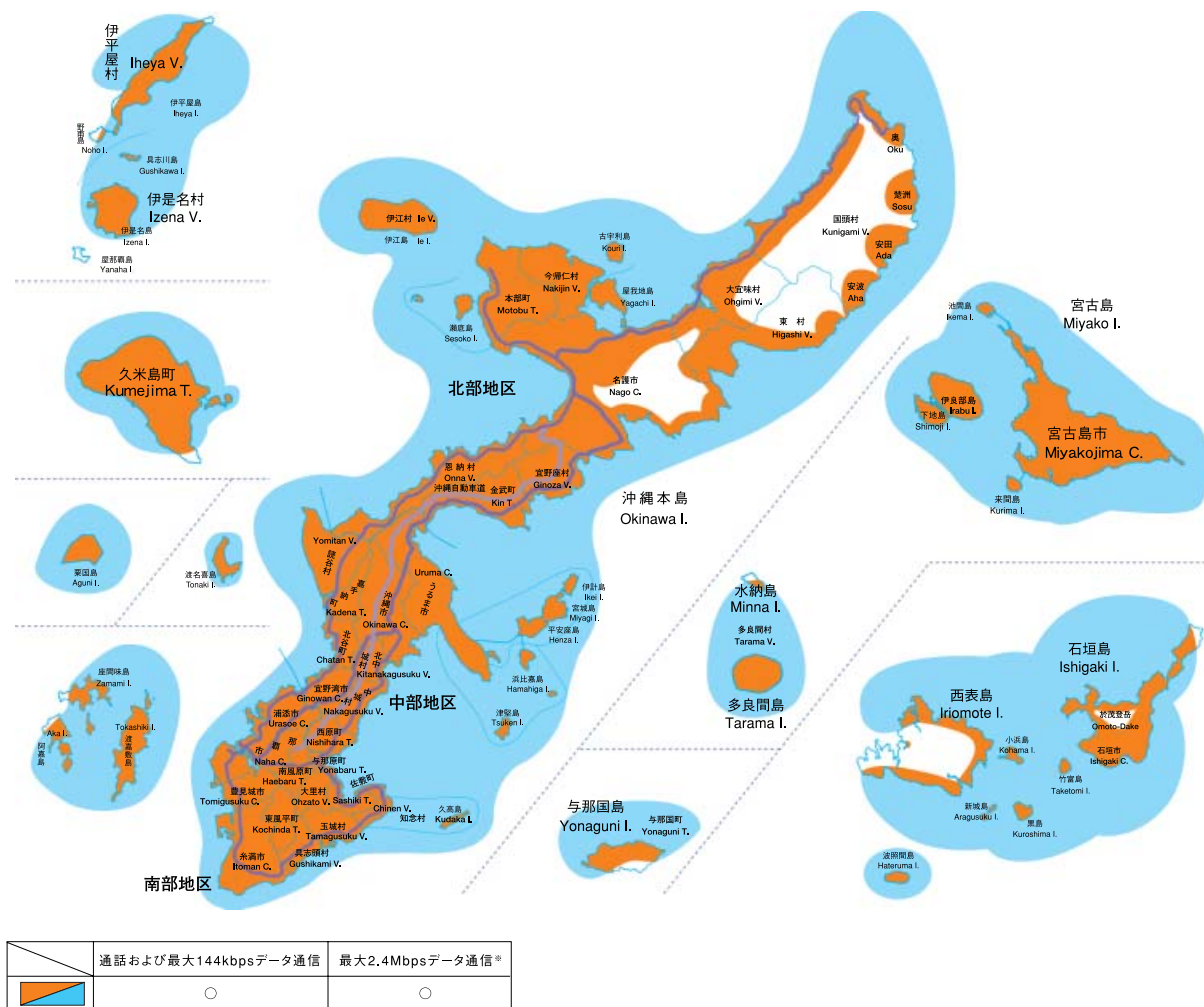
サービスエリア



SERVICE AREA

全国エリアで使える、話せる、CDMA 1X WIN。
最大2.4Mbpsデータ通信エリアも急速拡大中!

CDMA 1X WINおよびCDMA 1Xサービスエリアマップ



*平成17年9月末現在のエリアとなっています。

会社概要 (平成17年9月30日現在)

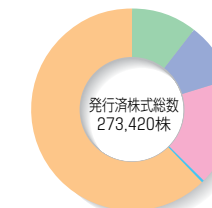
1. 会社名 沖縄セルラー電話株式会社
2. 設立 平成3年6月1日
3. 事業の内容 電気通信事業
(携帯電話サービスの提供)
・本社 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号
・ネットワークセンター 沖縄県那覇市東町4番地の1 他1ヶ所
・物流センター 沖縄県豊見城市与根50番71号
・保守サービスセンター 沖縄県宜野湾市我如古1丁目34番2号
5. 資本金 1,414,581千円

株式の状況 (平成17年9月30日現在)

大株主

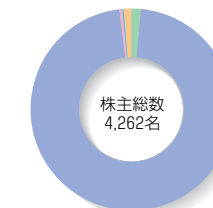
氏名又は名称	持株数(株)	議決権比率(%)
K D D I 株式会社	140,860	51.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,730	5.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,403	4.17
株式会社沖縄銀行	4,720	1.72
沖縄電力株式会社	4,720	1.72
琉球放送株式会社	4,720	1.72
ユービーエスルクセンブルグエスエイ 常任代理人 シティバンクエヌエイ東京支店	4,283	1.56
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,868	1.41
オリオンビール株式会社	2,784	1.01
デクシアピーアイエルジェイオー・ハンプロキャピタル マネジメントアンブラ 常任代理人 株式会社東京三菱銀行	2,500	0.91

株式分布状況



外国法人等	28,708株 (10.50%)
個人その他	26,637株 (9.74%)
金融機関	46,970株 (17.18%)
証券会社	1,052株 (0.38%)
その他の法人	170,053株 (62.20%)

株主分布状況



外国法人等	64名 (1.50%)
個人その他	4,115名 (96.56%)
金融機関	20名 (0.47%)
証券会社	10名 (0.23%)
その他の法人	53名 (1.24%)

株価チャート



注)平成17年9月22日に株式分割実施(詳細は10ページ「株式分割について」参照)

役員の状況 (平成17年9月30日現在)

取締役相談役	稲盛和夫
代表取締役会長	親泊一郎
代表取締役社長	起橋俊男
取締役	嵩元盛兼
取締役	西海彰晃
取締役	崎間邦男
取締役	小禄榮治
取締役	知念正彦
取締役	小野寺伸彦
取締役	中野寛文
取締役	両角功一
常勤監査役	古里弘多
監査役	仲井真弘
監査役	安里昌利